

授業科目	児童文学	2単位	選択	講義	1学年前期	担当教員	准教授 中川 武						
授業の概要	① 子どもの心の発達や言語の獲得に児童文化財が果たす役割について理解を深める。 ② 子どもの発達状況の理解を基盤に、適切な絵本体験を提供するために必要な配慮を学ぶ。 ③ 様々な絵本等の読み聞かせの実践を通し、保育者として不可欠な表現力の向上を図る。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 児童文学についての学びを基礎に、児童文化財の特性について理解を深める。					◎	◎		◎		◎	◎	◎	◎
2. 絵本や紙芝居等の実演映像資料や事例を通して、子どもの聞く力や想像力を育むために必要な保育者の役割を学び、読み聞かせ等の効果的な実演方法について実践的に理解する。					◎			◎	○	◎		○	◎
3. 子どもの発達状況や個人差を踏まえた適切な資料提供と配慮点について学び、省察する。					◎	○		◎		◎		○	◎
4. 本講座に関する学びを的確にまとめ、表現し、他の保育者との情報の共有化を容易にし、同僚性の向上に繋がる力を身につける。						◎	○	◎	○	◎		◎	◎
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照													
	主 題	準備学習		本時の学習内容と到達目標				復 習					
1	オリエンテーション	シラバスに目を通しておく。		授業の進め方および評価方法について理解する 児童文学とはなにか				ノート、教科書、参考図書等の確認					
2	児童文学とはなにか(1)	英米の児童文学の歴史について調べておく。		英米の児童文学の歴史を概観する。 英米の代表的な児童文学作品を通して、時代による子ども観の変遷について理解する。				英米の児童文学の変遷について理解を深める。					
3	児童文学とはなにか(2)	日本の児童文学の歴史について調べておく。 これまで読んだ児童文学作品を、整理しておく。		日本の児童文学の歴史を概観する。 日本の代表的な児童文学作品を通して、時代による子ども観の変遷について理解する。				日本の児童文学の変遷について司会を深める。 子どもの発達段階とメディア選択の意義について考察する。					
4	子どもの本とジャンル(1) —ファンタジーとリアリズムの特徴—	紹介した本を読んでおく。		子どもの本におけるジャンルを理解する (1) 作品を通して、ファンタジーとリアリズムの特徴を理解する。				ファンタジーとリアリズムに分類されたそれぞれの作品について理解を深める。					
5	子どもの本とジャンル(2) —冒険物語、歴史物語、ノンフィクションの特徴—	紹介した本を読んでおく。		子どもの本におけるジャンルを理解する (2) 作品を通して、冒険物語、歴史小説、ノンフィクションの特徴を理解する。				冒険小説、歴史物語、ノンフィクションに分類されたそれぞれの作品について理解を深める。					
6	絵本と幼年文学 —教育要領の理解—	『幼稚園教育要領 保育所保育指針 他』における絵本・紙芝居に関連する内容を読んでおく。		絵本と幼年文学の特徴について理解する。 子どもの発達を概観し、読み聞かせ、読み演じの意義について理解する。				読み聞かせ・読み演じと、子どもの発達との関わりについて考えを深める。					
7	読み聞かせが育むものとは —子どもの発達と絵本体験としての読み聞かせ—	読み聞かせたい本を用意する。		子どもの発達と、読み聞かせ(読み演じ)の楽しさを知る大切さについて考察する。				読み聞かせの際の心構えについてまとめる。					

8	子どもに適した本を選ぶ —様々な絵本の特徴と、選書のめやす—	なるべく多くの児童文学作品を読んでおく。	子どもに適した本の選択方法を考える。 読み聞かせの際の心構えについて理解する。 ・さまざまな絵本とその特徴 ・絵本の選書のめやす	図書館等で絵本を選び、下読みを行う。
9	絵本の読み聞かせ (1)	上手に読むための留意点を考える。	実践方法と留意点を理解する。 ・読み聞かせの方法・工夫を理解する。	絵本を上手に読み聞かせるために必要な配慮についてまとめる。
10	—子どもの発達に寄り添う読み聞かせの理解と実践—	読み聞かせの場面を考える。	子どもの発達や場面に応じた絵本の読み聞かせについて理解する。 ・子どもの反応に寄り添う読み聞かせのために必要な留意点について、具体的に理解する。	学んだことを生かし、絵本の効果的な読み聞かせ方について理解する。 図書館で紙芝居を選び、下読みを行う。
11	紙芝居の読み演じ (1)	紙芝居の読み演じについて絵本に親しむための環境について考えておく。	実践方法と留意点を理解する。 ・読み演じの方法と工夫及び三面舞台の効果を知る。 ・読み聞かせと読み演じの違いを理解する。	絵本と紙芝居の特徴について理解し、演じる上での留意点を知る。
12	紙芝居の読み演じ (2) —読み聞かせと読み演じが育むもの—	紙芝居の読み演じの実践をしておく。	子どもの発達や場面に応じた紙芝居の読み演じについて理解する。 ・効果的な演じ方についてまとめる。	学んだことを生かし、紙芝居の効果的な読み演じについて理解する。
13	バリアフリー絵本 —多様な子どもへの対応—	読み聞かせをしたい絵本リストをつくる。	バリアフリー絵本を元に、多様な子どもたちが児童文化財を享受するための配慮について理解する。	多様な子どもたちが、児童文化財を享受のために他にどのような方法があるか理解を深める。
14	子どもたちと本を結びつける他の方法 —様々な児童文化財の特徴と実践上の留意事項—	他の児童文化財について調べておく。	様々な児童文化財の特徴と実践上の留意事項について理解する。 絵本や紙芝居とは異なる面白さを考察する。 ・語り、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート	様々な児童文化財の特徴を理解し、実践の際の留意点についてまとめる。
15	レポートの書き方 —考えをまとめ表現する—	今まで学習したことをまとめておく。	児童文学の講座を通して学んだことをまとめ、レポートを作成する。	授業の到達目標について自らの到達度を確認し、今後の課題を整理する。
成績評価	受講態度 (30%) 提出物・レポート (30%) 期末試験 (40%) 合計 100%			
教員からのコメント	子どもの健やかな成長を支える児童書は「子ども時代」が尊重される社会で誕生し、それらを通して子どもたちは生涯にわたる読書行動に必要な技能を身につけていきます。読書行動は、乳児期の「読み聞かせや読み演じ」を通じた基礎の上に作り上げられ、保育者はその大切な時期に立ち会う存在です。児童文学について総合的に理解し、子どもの成長を支える読み手となるように学んでいきましょう。授業の進め方・課題説明を理解し、着実に学びを進めて頂けるよう、期待します。			
科書	書名 児童文学の教科書 著者 川端 有子 発行所 玉川大学出版部	推薦図書	書名 『保育者になるための国語表現』／田上貞一郎／萌文書林 書名 『紙芝居の演じ方Q&A』／まついのりこ／童心社 書名 『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』／チャイルド社	